

令和8年度「特別の教科 道徳」全体計画

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県の基本方針
市の基本方針

学校教育目標

＜めざす児童像＞
○やさしさいっぱいの子
○やる気いっぱいの子
○元気いっぱいの子

＜児童の実態＞
・活発である。
・誠実で素直である。
・家族思いで、兄弟をかわいがる。
・節度ある行動や場に応じた対応等で指導を要する。

保護者の願い
教師の願い
現代社会の要請

道徳教育目標

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

＜地域の実情＞
・教育的環境に恵まれている。
・学校への期待・関心が強い。

道徳教育重点目標

- ◎ 希望や志をもち、目標に向かって粘り強く努力する子
- ◎ 礼儀の大切さを知り、思いやりの気持ちをもって親切にする子
- ◎ 善悪を判断し、約束やきまり守って生活する子
- ◎ 生命の尊さを理解し、かけがえのないものとして大切にすること

学年別重点目標

低学年	中学年	高学年
○自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行う子 ○身近にいる人に温かい心で接し、親切にする子 ○約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にする子 ○生きることのすばらしさを知り、生命を大切にする子	○自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜く子 ○相手のことを思いやり、進んで親切にする子 ○約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る子 ○生命の尊さを知り、生命あるものを大切にする子	○より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜く子 ○誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする子 ○法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たす子 ○生命が多く、生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重する子

道徳の時間の指導

「道徳的諸価値について理解する」「自己を見つめる」「物事を多面的・多角的に考える」「自己の生き方について考えを深める」という4点をふまえた「考え、議論する道徳」授業の実践に努める
◇問題解決的な学習 ◇現代的な課題 ◇体験的な学習 ◇評価
育成すべき資質・能力～『道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度』

（総合的な学習の時間）
体験的な活動や問題解決的な学習を通して、自分自身を見つめ、互いに認め合い高めあうことの意義に気づき、自分なりの価値観を育てる。

特別活動	
学級活動	健全な生活態度の育成に資する活動を通して、希望や目標をもって生きる態度の育成、基本的な生活習慣の形成や望ましい人間関係の育成、心身ともに健康で安全な生活態度の育成を図る。
学校行事	集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展を資する体験的活動を通して、自立的態度、学習意欲、心身の健康、協力・責任、公德心、社会奉仕などの道徳性の育成を図る。
クラブ	同好の児童が共通の興味関心を追求する態度を自発的・自主的に行うことによって、自主性、社会性、個性の伸張を図り、協力していく態度を養う。
児童会	自分たちの学校生活を向上させようとするために、自発的、自治的な活動を通して、自主性、社会性を養い、個性の伸張を図る。

生徒指導との関連
○誰にでも進んで明るいあいさつができる。
○時間を守り、けじめのある生活ができる。
○相手を大切にして、正しい聞き方や美しい言葉を遣って話ができる。

各教科	
国語	思考力や想像力及び言語感覚を養うことによって、道徳的心情や道徳的判断力を養うとともに国語に対する関心を深め、国語を大切にすることを育てることによって、我が国の文化や伝統を大切にすることを育てる。
社会	我が国の国土と歴史の対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる民主的、平和的な国家社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
算数	日常の事象について見通しを持ち筋道を立てて考える能力を育てるとともに、数理的な良さに気づき、進んで生活に生かそうとする態度を育てることによって、道徳的判断力の育成を図る。
理科	自然を愛する心情を育てるとともに、見通しを持ち問題解決的な能力や科学的な見方や考え方を養うことで道徳的判断力の育成を図る。
生活	具体的な活動や体験を通して自分と身近な社会や自然との関わりに関心を持たせるとともに、基本的な生活習慣や技能を身につけ自立への基礎を養う。
音楽	音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てることで美しいもの、崇高なものを尊重する心豊かな情操を養う。
図工	つくり出す喜びを味わわせ、豊かな情操を養うことで、美しいもの、崇高なものを尊重する心豊かな情操を養う。
家庭	衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、家庭生活への関心を高めるとともに、家族の一員として家庭生活を工夫しようとする態度を育てる。
体育	健康安全についての理解を通して、運動に親しませるとともに、健康安全と体力向上を図り、明るく楽しい生活を営む態度を育てる。

学校・学級の環境整備と充実
○道徳的心情を豊かにし、生活態度を正す環境づくりをすることにより、道徳の実践を促す。
・人的環境・物的環境・言語的環境

家庭・地域との連携
○道徳教育についての理解を深める。
○各家庭、地域への啓発。(キラキラしらはえ)
○一校一徳(笑顔で自分から気持ちのよいあいさつ)

幼稚園・中学校との連携
○指導の一貫性を図り、指導法の研修をする。
○情報交換を行い、道徳教育の状況をつかむ。

その他の教育活動
○学校生活における集団生活に必要な態度を習得させる。
○公共的な態度・行動に対する関心を高める。
○集団生活を自治的に進められる能力を育てる。